

マナチャージ券が当たるクイズ付き！

クイズ

No. 25



モクくん

名古屋市道路占用調整協議会ニュース

浜岡原子力発電所の取り組み ～安全性のさらなる追求へ part3～

中部電力株式会社

今号もPart1、Part2に引き続き、浜岡原子力発電所の津波対策の1つである『原子炉を冷やすための重要な機器が使えなくなった場合でも、電源・水源など複数の代替手段を講ずることで「冷やす機能を確保する』』ための対策および防災訓練を紹介いたします。

確実に原子炉を冷温停止に導くため、電源供給、注水、除熱など複数の代替手段で「冷やす機能」を確保します。

電源供給：代替電源を確保する

- ①ガスタービン発電機を高台に設置
- ②災害対策用発電機の原子炉建屋上への設置
- ③予備蓄電池の確保
- ④電源盤および配電盤の高台への移設

注 水 | 原子炉の中へ直接水を送る

- ①原子炉へ高い圧力で水を送るためのポンプ用モーターを
海水により冷却できない場合に備え、空冷式の熱交換器を設置
- ②緊急時の注水確保のため、電源を必要としない可搬式動力ポンプを配備
- ③発電所に隣接する新野川から専用ホースなどを用いて送水
- ④水源の多様化を目的とした水タンクを高台などに増設

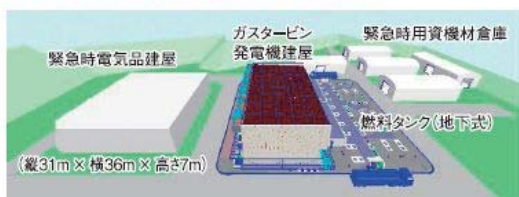
除 熱 | 原子炉から発生する熱を取り除く

- ①電源喪失時にバント操作を行うための窒素ポンプの設置
- ②中央制御室から直接バントが行えるよう遠隔操作化
- ③冷温停止に必要な機器の予備品を確保

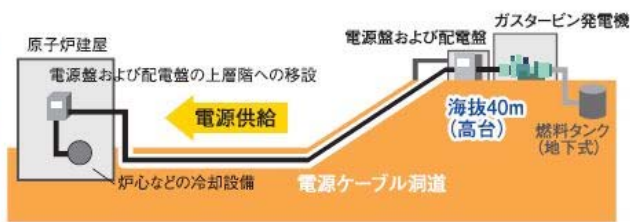
その他

- ①津波による漂流物(がれきど)の撤去用の重機を配備
- ②予備品を補完する倉庫を高台に設置
- ③5号機受電系統の増設、移動式変圧器の高台への配置など外部電源の強化

● 海拔40m(高台)の電源供給設備



高台設備完成イメージ(造成面積:約32,000㎡)



高台からの電源供給イメージ

『防災訓練』～ハード面の対策に加え、ソフト面での対策として～

全社防災訓練などの「総合訓練」と、東日本大震災を踏まえて整備してきた体制や手引きなどについて確実に実行することとその有効性を検証するための「個別訓練」を、継続的に実施しています。

【総合訓練の様子】

津波による浸水により、緊急時対策所が使用できない場合を想定し、発電所敷地高台に代替対策本部を設営する等の訓練を実施しています。

※スクリーニングとは？

身体の表面における放射性物質の付着の有無を確認する検査



代替対策本部設営訓練



避難誘導訓練
仮設テント内でのスクリーニング※

ライフライン topics

旧第一ポンプ所は、建設から100年！ ～鍋屋上野浄水場～

名古屋市上下水道局



大正3年に給水を開始した名古屋市の水道は、木曾川の水を愛知県丹羽郡犬山町（現犬山市）で取水し、愛知郡東山村大字鍋屋上野（現名古屋市千種区宮の腰町）の鍋屋上野浄水場でろ過し、東山村大字田代（現千種区田代町）の東山配水場から配水するものでした。鍋屋上野浄水場旧第一ポンプ所は、ろ過した水道水を東山配水場へ送るための施設で、平成4年に現在の設備棟内に新たなポンプ設備ができるまでの約80年間、ポンプを守り続けてきました。

平成24年9月には、市内に現存する数少ない優れた意匠のレンガ造の建物として、「名古屋市指定有形文化財」に指定されています。

現在は、耐震補強及び復原工事を進めており、今年5月ごろには工事が完了する予定です。その後は、浄水場の見学の際にご覧いただくことができるようになります。

【見学について】

- ・ 鍋屋上野浄水場の見学は、10名以上の団体で見学が可能です（事前予約制）。
- ・ 詳しくは、鍋屋上野浄水場（TEL 052-721-1631）へお問い合わせください。



1 旧第一ポンプ所 2 正面上部の石材飾り 3 正面のレンガタイル 4 内部のポンプ

見たことある？高速道路上の設備

～いつも近くに 名古屋高速～

名古屋高速道路公社



前号でお知らせしたとおり、昨年11月23日に高速4号東海線が開通し、名古屋高速の計画路線全線を開通することができました。このネットワークの完成により、ますます便利で身近になった名古屋高速を皆さんぜひご利用ください！

公社ではこれからも、安全・安心・快適な高速道路を目指し、より一層のサービス向上に努めてまいります。今回は、安心して快適なご利用をサポートする高速道路上の設備について2点、紹介いたします。

■車両感知器

本線上（約500m間隔）や出口・入口などに設置され、通行する車両台数や通行速度などを計測しています。

これらのデータから、渋滞の長さや所要時間の算定を行い、高速上の道路情報板への自動表示や、

日本道路交通情報センターへの情報提供を行っています。



■非常駐車帯・非常電話

交通事故、車両故障などの非常事態発生時に、安全に停車していただくため本線上に約500m間隔で非常駐車帯を設置しています。

各非常駐車帯には、非常電話を設置しております。ここから直接、管制室につながりますので、緊急連絡が必要な時にご利用ください。



地下鉄高架部高欄改良の取り組み

～施設の計画的な維持管理～

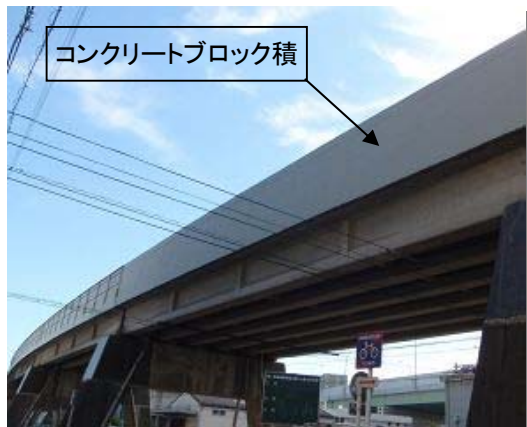
名古屋市交通局



交通局では、安全を第一に、安心・快適でより便利な交通サービスを提供するために、さまざまな取り組みを行っております。地下鉄のトンネルや高架橋などの施設においては、損傷を未然に防止し、安全性の向上を図るため、計画的な維持管理を行っております。ここでは、高架部におけるコンクリートブロック積の高欄の取り換え工事を紹介いたします。

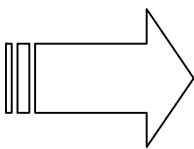
取組事例

地下鉄東山線高架部（一社～藤が丘）の高欄はコンクリートブロック積の構造となっておりますが、ブロックの落下を未然に防ぐため、平成21年12月から順次、アルミパネルに取り換えています。毎年、約400m取り換えており、平成30年に全箇所完了する予定です。



コンクリートブロック積

▲取り換え前



アルミパネル

▲取り換え後



皆様からいただいたご質問のうち、主なものをQ & A形式によって紹介させていただくコーナーです。

Q1 ディガーが置いてある地下鉄の駅を教えてください。

A1 発行日から1カ月を目途に、お客さまのご利用の多い名古屋駅・栄駅・金山駅に置いています。

Q2 名古屋高速道路は遮音壁の他に排気ガス対策はなされているのでしょうか？

A2 発生源である自動車の構造改善に期待するところが大きいですが、道路網の整備及び交通管制の充実により、スムーズな交通を確保し、排気ガス量の発生の低減に努めています。

Q3 下水の有効利用はしていますか？

A3 水処理センターで処理した水をせせらぎの水、散水用の水、河川の維持管理用水として利用していることや、下水が持っている熱エネルギーをランの館などの冷暖房熱源として活用しています。

Q4 津波が来た時、名古屋高速道路は避難場所としては使用できますか？

A4 名古屋高速道路は道路法で自動車以外の通行が制限されています。避難場所としての活用は、高速利用車両と避難者が混在するなど、安全確保の面に課題があると考えています。

今年（平成26年）も「夏休み親子見学会」を開催します!!

中学生以下のお子様とその保護者を対象に、道路や道路内の地下埋設物への関心を高め、道路の大切さを知っていただくことを目的とした見学会を8月頃に実施します。詳しくは、「親子見学会に関する号外版（6月頃発行予定）」又は、「ディガー第26号（7/1発行予定）」をご覧ください。

モグくんのクイズコーナー 【今号をよく読んで答えてネ!】

問題 鍋屋上野浄水場旧第一ポンプ所は、いつ(何年何月)「名古屋市指定有形文化財」に指定されたのでしょうか？

- ① 平成21年12月
- ② 平成25年11月
- ③ 平成24年9月



答えを、今号の感想や質問と一緒に下記の事務局まで（はがき・FAX・Eメールであなたの住所、氏名、電話番号を記載して）お送り下さい。（平成26年5月31日必着）

正解者の中から、抽選で5名の方にマナカチャージ券1000円分をプレゼントします。（当選者の発表は発送に替えさせていただきます。）

※応募はお一人様一通に限らせていただきます。
※取得した個人情報 は問合せの回答、内容の確認及び発送事務のみ使用しその他の目的では使用しません。

「ディガー(digger)」って、何…？

digは英語で地面を「掘り起こす」意味です。

そして、diggerは「掘る人（機械）」を意味しています。

編集後記

第24号のクイズの正解は①でした。

72名のご応募をいただき、抽選で5名の方にマナカチャージ券をお送りしました。

今回も貴重なご意見やご質問等が寄せられました。今後の紙面に反映していきたいと思えます。

クイズの回答とあわせて皆様からのたくさんのご意見やご質問をお待ちしております。

次号 (No.26) は平成26年7月1日発行予定です。

お楽しみに!!

発行日 平成26年3月1日

編集・発行 名古屋市道路占用調整協議会(事務局 名古屋市緑政土木局路政部道路管理課)

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL(052)972-2851 FAX(052)972-4167

ホームページアドレス <http://www.nagoya-dourokouji.jp> E-mail a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会は、道路工事の計画、工事の手順、方法などを調整する機関です。

名古屋市 国土交通省 愛知県警察本部 名古屋高速道路公社 名古屋市上下水道局 名古屋市交通局

西日本電信電話株式会社 中部電力株式会社 東邦ガス株式会社 などで構成されています。